

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【公開番号】特開2008-307211(P2008-307211A)
 【公開日】平成20年12月25日(2008.12.25)
 【年通号数】公開・登録公報2008-051
 【出願番号】特願2007-157641(P2007-157641)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月9日(2010.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機を構成する監視対象物の支持対象からの離間を監視する監視手段を備え、当該監視手段は、

前記支持対象に対する前記監視対象物の位置が所定位置である場合に押圧力が付与されて第1位置に待機し、前記支持対象に対して前記監視対象物が前記所定位置から離間された場合に前記押圧力の付与が解除されて前記第1位置から第2位置に移動する移動体と、

当該移動体と機械的に連動することで予め設定された複数の待機位置に段階的に移動可能に設けられ、前記移動体が前記第1位置から前記第2位置に移動したこと及び前記第2位置から前記第1位置に移動したことの少なくとも一方に連動して、一の待機位置から次の待機位置に移動するとともに、前記移動体が前記第1位置から前記第2位置に移動し且つ前記第2位置から前記第1位置に移動した場合にその一連の動作前の待機位置とは異なる待機位置に移動する連動体と、

複数段階の検知状態が予め設定されているとともに、前記連動体の前記待機位置に応じて前記検知状態が変更される検知手段と、を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記連動体は、所定の回転軸を中心として回転可能であって前記複数の待機位置として複数の回転待機位置が設定された回転体であり、

当該回転体は、前記移動体が前記第1位置から前記第2位置に移動したこと及び前記第2位置から前記第1位置に移動したことの少なくとも一方に連動して、一の回転待機位置から次の回転待機位置に回転するものであり、

前記検知手段は、前記連動体の回転待機位置に応じて前記検知状態が変更されることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記連動体は、前記各待機位置に対応させて複数の被検知部を備えており、

前記検知手段は、前記被検知部を検知する検知部を複数備えているとともに、前記被検知部を検知している検知部の組合せにより前記検知状態が変更されるものであることを特

徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記検知手段は、複数の金属端子を備えており、

それら金属端子は、前記連動体に形成された被検知部と接触することで、それら被検知部と接触している金属端子同士が前記連動体を介して電氣的に導通されるものであり、

前記各検知状態と 1 対 1 で対応させて、前記連動体を介して電氣的に導通される前記金属端子の組合せが異なるように、前記金属端子及び前記被検知部が設置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記検知手段がいずれの検知状態にあるかが、前記監視手段の外観上、識別不可となっていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。